

永寿園とよなか

田中幸 様作

平成29年 第6号

発行人：所長 宇津木 久志
発行：永寿園とよなか
〒560-0084
大阪府豊中市新千里南町3-2-122
TEL：06-6840-2211
FAX：06-6840-2214
E-mail：eijuentoyonakal22@seagreen.ocn.ne.jp
URL：http://www.osj.or.jp/eijyuen/

ごあいさつ



事務長 兼
えいじゅ・とよなか保育園園長
西川 知足

平素は永寿園とよなかに、格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。ようやく桜も色づき始め、春の訪れを感じる事ができるようになった4月1日、事務長として着任いたしました西川知足(にしかわともたり)と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

「永寿園とよなか」は竹藪の間を心地よい風が吹き抜けていく、爽やかで落ち着いた雰囲気施設の印象で、着任後の入居者の皆様のお顔を拝見すると、とても充実した生活を送っておられるのを感じることができました。

さて、「永寿園とよなか」も開所5年目を迎える節目を迎えましたが、今年度は地域へのさらなる取り組みとして、昨年度に引き続き認知症サポーター養成講座を開催するとともに、講習を修了したサポーターの皆様の活躍の場として、認知症カフェの運営を手始めに、認知症サポーターの皆様の組織化への基盤づくりに力を入れていきます。地域で支えていくことにより住み慣れた

場所でも多くの方のサポートを受けながら、安心して暮らしている社会の構築を目指します。また、個別ケアのさらなる充実を図るため、積極的な地域行事への参加やユニットケア研修や認知症実践者研修を受講し、職員個々のレベルアップを図ってまいります。

更に、昨年12月には法人初の企業主導型保育『えいじゅ・とよなか保育園』をオープンいたしました。保育の運営におきましても保護者の方々ならびに法人職員が、育児をしながら安心して仕事ができる環境づくりに努めるとともに、施設内の利用者と園児の世代間交流を通じてお互いを高めあえる機会を確保してまいります。

昨年は高齢者施設や障害者施設におきまして、痛ましい事件がありました。永寿園とよなかとしても他人事と流してしまうのではなく、法人全体での取り組み同様、全職員の意識向上に努めてまいります。年2回の職員の現状を把握するためのチェックリストの実施や人権リーダー養成講座を受講した職員を中心とした職員研修を行い、皆様が安心して生活が送れるよう努めてまいります。

このようなさまざまな取り組みを通じて、地域の方々に「自分たちの地元には永寿園とよなかがある」と安心していただけるような施設作りを目指してまいります。

これからも期待を損なうことのないよう、職員一同、より一層の努力を重ね日々努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

平成29年度 事業計画

★施設目標★

永寿園とよなかをはじめとした法人内近隣施設と協力し、安定的な人材の確保を図るべく、昨年度開始した事業所内保育事業の更なる推進、宣伝効果を利用した既存事業の更なる発展を図り、自施設だけではなく法人単位での人材、運営両面の安定に寄与できる様取り組んでいきます。

★事業方針★

- (1) 介護・生活支援サービスの向上
個別のサービスに重点を置き、少人数単位での行事、レクリエーション等を実施していきます。
- (2) 専門性の高いケアの提供
入居者の重度化が進み、人的なケアでは限界が出てきた為、安全で快適なケアを行う

ための手段として昨年度一部導入したりフト浴を本年度も新たに導入していきます。

- (3) 経営基盤の安定に向けた取り組みの推進
急遽一人での生活が困難となり在宅では生活が出来なくなった方など緊急で介護が必要になった場合や、冠婚葬祭や急な病気などにより介護者が不在となる場合等の受け皿として、養護の短期入所ベッドや特養入居者の入院空床ベッド、短期入所ベッドを有効かつ有益に利用出来るよう市町村、地域包括支援センター等との連携を密に行っています。
- (4) 人材育成と職場環境の整備
職員個々のユニットケアについての知識をより一層深める為、ユニットケア研修への職員の派遣や認知症に関する研修に職員を参加させ、個々の職員のレベルアップに

取り組むと共に、ユニットリーダーや認知症実践者研修受講者を中心に施設内で伝達研修を行うなど、ユニットケア、認知症に対する更なる知識向上に取り組んでいきます。

- (5) 地域福祉の推進
昨年度に引き続き、認知症サポーター養成講座の定期開催や出前講座を実施し、認知症に対する意識、知識を身に付けた地域サポーターを一人でも多く誕生させ、認知症の方が安心して地域で過ごすことが出来るような環境、認知症の方を地域で支えることができる環境が作られるよう、地域の福祉方向上へ貢献していきます。

永寿園とよなかで組織化された認知症サポーターによる認知症カフェの運営に取り組みます。施設がその事務局として活動し、運営をサポートするとともに、将来的には独立組織による地域の方々へのアウトリーチが出来る体制となれるよう支援します。

- ② 達成目標
認知症サポーターによる認知症カフェの自主運営。

★地域公益事業の推進★

- (1) 取り組みべき課題
地域福祉への関心が高まり、地域での「自助」「互助」の活動が期待されています。この活動を応援するために、社会福祉法人として地域住民の方を対象に介護予防、生涯学習の機会を提供していきます。

★平成29年度ステップアップ事業★

- (1) 地域サポーターの組織化
① 取り組み内容



えいじゅ・とよなか保育園



保育士 靖枝

楫

園して半年近くが過ぎようとしています。永寿園とよなか利用者の皆様、地域の方、ボランティアの方々に見守られて子どもたちは色々な体験をさせて頂いています。

年末のお餅つきは迫力たつぷりの姿に興味

桜の季節が足早に過ぎ、つじのつぼみが膨らみ始める季節となりました。

保育園にも、新しいお友だちが加わり、より一層賑やかになりました。一学年進級した二歳児さんは、すっかり園の生活に慣れ、生活習慣も身に付き、ひとまわり大きくなったように感じます。

初めての集団生活で、不安や期待いっぱいの子どもたち。ゆったりと関わりあい、安心して楽しく過ごせる場所になるよう、職員一同努力していきたいと思っております。

さて、昨年12月に開園しましたえいじゅとよなか保育園も、開

津々！杵を持って保育者と一緒に参加もできました。2月は節分の豆まきに参加し、鬼に向かって新聞ボールを投げつつ、いっばい泣いて、頑張った子どもたち。民謡の会にも参加させて頂き、おじいちゃん、おばあちゃんに囲まれながら歌に合わせて体を揺らしたりと、楽しい時間を過ごしました。

毎日の生活の中で、身近にいる大人と関わり合い、親しみをもつて過ごすことは子どもたちにとって宝物のような時間です。これからも、あたたかい眼差しで、子ども達の成長を二階に見守って下さい。よろしくお願致します。



食事の提供について



私たちナリコマエンタープライズスタッフはお食事を通してご利用者様に喜んで頂くことを大切に日々のお食事を提供させて頂いております。

四季折々の行事・祭事を大切に、旬の食材を使用し季節感の感じられる献立を心がけています。

また当社は介護食にも力を入れており、普通食・ソフト食・ミキサー食・ゼリー食の4つの形態を展開しており、ご利用者様の身体機能に合わせて選んで頂く事ができます。

今年度も普段のお食事に加え行事食・イベント食にも力を入れ、メリハリのある献立・お食事提供を目標にスタッフ一同頑張りますので宜しくお願致します。

特別養護老人ホーム 今年度目標



ゆたか1丁目

ゆたか1丁目でユニットリーダーの小林哲也と申します。ゆたか1丁目、今年度の取り組みと致しまして、より家庭的な環境になるよう、入居者様方が、落ち着き過ごせる空間作りに取り組んでいきたいと思ひます。また、入居者様に季節を感じて頂けるよう、外出行事・室内行事の企画に努めたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。

ゆたか2丁目

ゆたか2丁目を担当させて頂いています井上です。今年度、入居者様の行ききたいところをお聞きし、外出の機会を計画していきたくと考えております。また、安心して日々の生活を過ごす努めてまいりますので、よりしくお願ひ致します。



いづみ1丁目

いづみ1丁目では、入居者様一人ひとりの思いを大切に、安心して生活が送れるように支援に努めています。また、入居者様の今までの生活歴に継続着目し、入居者様の持てる力を十分に発揮できるように支援したいと思ひます。入居者様を大切に思ひ、その方に合った支援に取り組んでいきたいと思ひますので、よりしくお願ひ致します。

いづみ2丁目

こんにちは。いづみ2丁目(ショートステイ)の水上小百合です。今年度は、利用者様に楽しく過ごして頂ける様、レクリエーションの内容を職員間でアイデアを出し合い充実した物にしていくよう取り組んでいます。また、お一人お一人の立場に立った声掛けを行ない、安心して過ごして頂ける様、職員皆で努めていきますので宜しくお願ひ致します。



接遇委員会よりお知らせ

日頃から接遇に対して関心を持つて頂き、ワンダフルカードが平成28年度は、101枚確認出来ました。その中で、最多取得職員、岡田勝介護職員、多久和里香生活相談員、三木立江介護職員、小畑正人介護職員、森祥介護職員の5名に表彰状と記念品を授与しました。



これからも笑顔が人と人をつなぐ、敬意を込めた言葉使い、相手の思いを受け止められる職員を目指し、頑張つていきたいと思ひます。来年度も表彰状などを考えていますので、たくさんワンダフルカードを待つています。

養護老人ホーム 今年度目標



作品展

を皆さんと作っています。5月は紙コップ、ストロー、折り紙でこいのぼりを作りました。20分ほどで完成し「かわいいのが出来たわ。」と喜ばれていました。

手作りクラブ

ボランテニアの方が講師となり、2カ月に1度のペースでその時折々の作品



色どりのこいのぼり

麻雀クラブ
毎週火・金曜日の午後におなじみのメンバーが集まり、麻雀を行われています。勝敗を記入されたノートを作られ楽しまれています。

クラブ活動報告

4月で永寿園とよながが開所して5年目となりました。徐々に身体の状態・筋力の低下による、転倒等の事故が増えてきています。入居者様には事故に繋がらないようにラジオ体操・歩こう会等で日頃から運動をして頂き、天気が良い日には散歩等して運動して頂くように努め、いつまでもお元気に暮らして頂けるよう支援していきます。

カラオケクラブ

今年度に入り特に活動的になってきたカラオケクラブ。3階、4階のカラオケが好きな方同士で声を掛けあい決まった時間の中で楽しまれています。



子どもたちと体操

医務室より

看護職員 萩原美保

2月1日付けで養護の看護職員として配属されました萩原美保です。

養護は初めてで不安もありましたが、入居者様より「頑張って。」「よろしく頼むで。」等の温かい言葉に励まされ日々勉強中です。入居者様に寄り添い、健康管理に努めて参りたいと思います。よろしくお願い致します。

過ごしやすい季節になりましたが、まだ朝夕の気温差が大きく、体調を崩しやすい時期でもあります。外出時には上着を持参したり、花粉症の方はマスクの着用を。帰宅時には手洗い・うがい等、体調管理に気を付けて頂き、お元気にお過ごし頂ければと思います。



新人・転入職員ご挨拶

養護科長 足立孝子

この度、4月1日付けで養護の介護科長として着任しました足立孝子です。養護は初めてですが一日も早く永寿園とよながの事を覚えられるように努めて参ります。養護老人ホームも5年目に入りますが、養護の課題や役割等を考えながら入居者の皆様に安心して暮らして頂けるよう支援して参りますのでよろしくお願い致します。



転出・退職職員ご紹介

■転出
堀 令子 養護介護科長
→春日丘荘 特養介護科長

行事報告

鬼退治

地域交流室で鬼退治をしました!!



入居者様は豆代わりの新聞紙を丸めたボールを「鬼は外」「福は内」の掛け声を忘れるほど、鬼に豆を投げるのに夢中になりました。涙を流しながらも「あっちいけ!あっちいけ!」と勇敢に鬼に新聞紙の豆をまく園児もいました。子どもたちの元気な泣き声もありワイワイガヤガヤと盛り上がりました。

創立記念祭



3月15日に永寿園とよなか創立4周年記念祭が行われました。養護、特養共に多くの方が地域交流室に集まれ、笑福亭仁嬌様による落語会、民謡サークルどっこいの皆様による民謡端歌、三味線を楽しませ

た。落語を聞きながら大喜利に積極的に参加される方もおられました。

お話を聞きながら「やつぱり上手やね。面白いわ〜。」と喜ばれている声も聞こえてきました。

どっこい三味線は炭坑節、黒田節などのなじみのある曲や、自転車安全運転を願った替え曲を披露され、三味線、太鼓、ちんどんの音、歌声でにぎわいました。

お花見

近隣のお花見を楽しんでいたいただきました。「綺麗に咲いてるわ。」「今日は暖かいね。もう春が来たね。」など、それぞれ季節を感じられた様子でにやかな表情で桜を見られていました。



社会貢献事業

昨年度に引き続き、認知症サポーター養成講座の定期開催や出前講座を実施し、認知症に対する意識、知識を身に付けた地域サポーターを一人でも多く誕生していただき、認知症の方が安心して地域で過ごすことが出来るような環境、認知症の方を地域で支えることが出来る環境が作られるよう、地域の福祉力向上に貢献していきます。

介護予防推進については、とよなか地域ささえ愛ポイントを活用した高齢者ボランティアを積極的に受け入れ、高齢者が活躍できる場を提供していきます。

現在、施設の近隣地域では新たなマンション建築に伴う子育て世代の増加が見られていることから地域への施設機能の提供については、これら新たな住民と既存住民の橋渡しや、子育て世代と高齢者世帯の世代間交流を図ることが出来るきっかけとして、施設開放行事である夜店まつり、ピアガーデン、幼児用プールの設置など様々な場面で施設を提供し、あらゆる世代、世帯が集える地域のコミュニティとして活用してもらえ

地域交流室について

永寿園とよなか地域交流室の使用規程が変更となりました。

◆使用時間：平日 9:30から12:00
15:00から20:00まで
(12:00から15:00までは園児のおひるね時間の為使用不可)

日・祝日 9:30から20:00まで
使用時間は1日あたり3時間以内。

◆受付方法：利用申込書提出で予約確定となりますので、電話予約は仮予約となるため、代表の方は事前に施設に利用申し込みのご記入をお願いします。

予約受付期間は使用日の1月前の日の属する月の初日から当該使用日の前々日までです。

(例)8月1日の予約は7月1日以降に受け付け可能。

8月31日の予約は7月1日以降に受け付け可能。

おれんじカフェ

てくてく

5月14日(日曜)に第1回 認知症カフェを開催しました。地域ボランティアの方々为主体となって運営に携わっていただいています。認知症の方やご家族の相談、交流など楽しめる場所です。お気軽にお立ち寄りください。



◆開催日時：毎月第2日曜日13時～15時



東泉丘校区福祉委員会について

東泉丘校区福祉委員会 会長 豊田 正喜

特別養護老人ホーム永寿園とよなか様とは日頃、親しく交流させていただき、何かとお世話になっております。きっかけは、3年前頃でしたか、それまで私達が南町3丁目「桃山会館」で実施していた子育てサロン「ももちゃん」が手狭になったため、新しく建設された永寿園とよなかにご相談しましたところ、地域交流室の使用を快く引き受けてくださったのが、最初でした。その後、カフェサロン「ことぶぎ」、またこの度はご高齢者のための「なんでも相談」に場所をご提供いただくこととなり、大変感謝いたしております。

一方、永寿園とよなかにご入居されておられるご高齢者の方も、「ももちゃん」では幼児の遊びに目をほそめられ、カフェサロンでは地域の方々との交流、又敬老の集いに参加されては、元気はつつたる小学生との交流を楽しまれておられる様子でした。

今後も永寿園とよなか様を地域交流の拠点として、私達ますます親交を深めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

苦情解決

養護老人ホームの入居者様より朝食時のお盆について

「毎日朝から暗い色のお盆で気分が下がる。」

とご意見がありました。

朝食は昼食、夕食よりも小さいお盆を使用し、食堂ごとにお盆の色分けをしていました。ご意見が上がった食堂では茶色のお盆を使用しており、少しでも気分が上がる様に隣の食堂の橙色のお盆と混ぜて朝食を提供することにしました。

今後も入居者様のご意見をお聞きしながら、楽しみのある生活を送って頂けるよう支援していきます。



ステップアップ事業

認知症サポーター養成講座

永寿園とよなかの職員が講師となり講義、演技を交えて「認知症」という病気についてお伝えしています。認知症について理解を深めたい、サポートしたいという気持ちがある方、ぜひ1度永寿園とよなかの認知症サポーター養成講座にお越しください。



開催日程

平成 29年 5月26日(金)
7月22日(土)
9月22日(金)
11月25日(土)
平成 30年 1月26日(金)
3月24日(土)

時間

15:00
～16:30

参加料
無料

編集後記

日に日に暖かくなり、施設の前の木々たちは綺麗な緑の葉っぱが付き、さわやかな風がふいています。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

平成25年に開所した永寿園とよなかも皆様のおかげで無事に5年目を迎えることが出来ました。

昨年の12月に保育事業が始まり、子どもたちの登園時間にはご入居者の方が1階のフロアに降りて来られ、子どもたちとの触れ合いの時間を持たれています。皆様にとって、子どもたちがいることで1日を過ごすうえでのたのしみのつになつていくように思います。

今年度も日頃の感謝をこめて、永寿園とよなかの様子を皆様にお届けしていきたいと思っております。ご意見ご感想があれば広報委員までお声掛けください。

養護生活相談員

多久和 里香